

No.481 『飛び交う (とびかう)』 ⇒多くのものが入り乱れて飛ぶ。

[例文] 彼が説明も否定もしないことで、ますます悪い噂が飛び交ってしまう。

No.482 『見つくろう』 ⇒適当なものを選んでととのえる。

[例文] さすが親友だけあって、彼女が見つくろってくれた本はどれも私好みだった。

No.483 『すんなり』 ⇒抵抗がなく、順調に事が運ぶ様子。

[例文] てっきり断られるかと思ったが、先生は僕たちの部の顧問をすんなり引き受けてくれた。

No.484 『原動力 (げんどうりょく)』 ⇒活動や活力のもとになる力。

[例文] あの試合に負けた悔しさが、一心不乱に練習に取り組む原動力になっている。

No.485 『堪能 (たんのう)』 ⇒十分に満足すること。

[例文] いつもはスマホで聞いているミュージシャンの音楽を、ライブ会場でたっぷり堪能した。

No.486 『ざっくばらん』 ⇒気取らないで率直に心情を表す様子。

[例文] ざっくばらんに厳しいことを言っても憎まれないのが、彼女の良いところだ。

No.487 『人一倍 (ひといちばい)』 ⇒普通の人以上であること。

[例文] 彼はなかなか褒められることがなかったので、他人に評価されたい気持ちが人一倍強い。

No.488 『集大成 (しゅうたいせい)』 ⇒多くのものを集めて一つにまとめること。

[例文] 今度のコンクールが3年間の集大成になるはずだった。

No.489 『かぶりを振る』 ⇒頭を左右に振って否定する。

[例文] 彼は強い口調で『それは誤解だよ』と、かぶりを振った。

No.490 『四六時中 (しろうじちゅう)』 ⇒一日中。いつも。

[例文] コンクールが間近に迫り、頭の中で演奏曲が四六時中鳴り響いている。

No.491 『わななく』 ⇒恐怖、緊張、怒りなどで体が震えること。

[例文] 怒りのあまり、体全体がわななくのを抑えることができなかった。

No.492 『出し抜け (だしぬけ)』 ⇒突然、思いがけないことが起こること。いきなり。

[例文] 病院で出し抜けに声をかけられ、びっくりして振り返った。

No.493 『失念 (しつねん)』 ⇒うっかりして忘れること。

[例文] 集合場所が変更になったことを伝えなければいけなかったのに、失念してしまった。

No.494 『気乗り (きのり)』 ⇒ある物事に興味がわき、進んでそれをしようという気持ちになること。

[例文] 今日、遊びに行くメンバーの中に、気の合わない友人がいることを知ってどうも気乗りがしない。

No.495 『道すがら』 ⇒道を行く途中。道を行きながら。

[例文] 学校から帰る道すがら、なぜ彼があんなに怒ったのかずっと考えていた。

No.496 『おどろおどろしい』 ⇒不気味で恐ろしい。凄まじい。

[例文] 緊張のあまり、舞台から見た客席はひどくオドロドロしく見えた。

No.497 『一目 (いちもく) 置く』 ⇒自分よりすぐれた人に敬意を払う。

[例文] 全く目立たなかった僕だが、マラソン大会で優勝して以来、クラスの中で一目置かれるようになった。

No.498『相好（そうごう）を崩す』⇒にこやかな表情になる。顔をほころばせる。

[例文] さっきまであんなに怒っていたのに、みんなの笑顔に誘われて彼女は思わず相好を崩した。

No.499『無性（むしょう）に』⇒むやみに。やたらに。

[例文] 親に決めてもらわないと何もできない自分に無性に腹が立った。

No.500『圧巻（あっかん）』⇒勢ぞろいしたもののの中で最もすぐれているもの。

[例文] 見事な走りだったが、中でも圧巻だったのは、5人のランナーをごぼう抜きにした場面だった。

No.501『平然（へいぜん）』⇒平気で落ち着いている様子。

[例文] こんな時に平然としていられるなんて、とても人間とは思えない。

No.502『小走り（こぼしり）』⇒狭い歩幅で、走るように急いで行くこと。

[例文] 私が選抜メンバーに選ばれたのを知って、彼女は小走りで駆け寄ってきた。

No.503『自嘲（じちょう）』⇒自分で自分をつまらぬものとして軽蔑すること。

[例文] 彼の活躍を本心で喜べない自分に自嘲するしかなかった。

No.504『拙（つたな）い』⇒ことを行うのがうまくない。下手である。

[例文] 拙いプレゼンだったが、彼の熱い思いに審査員が徐々に引き込まれていくのが分かった。

No.505『いつにない』⇒いつもと違ってしている様子。

[例文] 3年生は最後の大会とあって、いつになく緊張していた。

No.506『意欲的（いよくてき）』⇒積極的な気持ちを持って、物事をなしとげようとする様子。

[例文] 私が顧問になって以来、彼女ほど意欲的に取り組む生徒を見たことがない。

No.507『ためらう』⇒あれこれ迷ってぐずぐずする。

[例文] 彼を追い詰めてしまうのではないかと、本当のことを言うのをためらった。

No.508『息をのむ』⇒驚きや恐れのために一瞬息を止める。

[例文] ピアノを弾けるとは聞いていたが、あまりの技術の高さに誰もが息をのんだ。

No.509『言外（げんがい）』⇒言葉に出さない部分。

[例文] 惨敗した僕を見つめる彼の視線が、言外に僕の練習不足を指摘していた。

No.510『ほだされる』⇒情に引きつけられて、心や行動の自由が縛られる。

[例文] 必死に涙をこらえる彼の姿にほだされて、僕らは誰も彼を責めることができなかった。